

■講義名 「社会調査論」(Social Research)

金曜 2~4 限 (9:45~12:10) 西 9 W626 (後半は社工端末室)

単位数 2-1-0

■担当教員

橋本摂子助教 (西 9 号館W棟 514 号室 内線 3187 E-mail:hashimoto.s.ac@m.titech.ac.jp)

東工大 OCW に講義で使う資料などを up します。

■講義のねらい

社会調査の方法論の基礎的な理解、調査のデザイン、実施からデータ分析の技法を一通り習得します。講義前半では、社会調査の歴史と現状、社会調査法の基礎と仮説構築方法を学び、実際に調査企画書を作成してもらいます。後半では、統計ソフト stata を使って JGSS-2005 公開データを用いた二次分析の演習をおこない、カテゴリカル・データを中心とする社会統計学の基礎的な分析手法と表現手法を学びます。最後は、各自の関心に応じて分析報告書を作成・提出してもらいます。

■参考図書：ボンシュテット&ノーキ『社会統計学』1990，ハーベスト社。

【海野道郎，中村隆(訳)】

■スケジュール

- 第 1 回 (4/9) 社会調査法 (1) インTRODクシヨン-社会調査の歴史と現状
- 第 2 回 (4/17) 社会調査法 (2) 調査プロセスと仮説設定【演習】
- 第 3 回 (4/24) 社会調査法 (3) 因果関係の推論と相関の誤謬【演習】
- 第 4 回 (5/1) 社会調査法 (4) 調査票の構成とワーディング【演習】
- 第 5 回 (5/15) 社会調査法 (5) サンプルング法と調査倫理調査【企画書作成演習】

(※以後 PC 使用)

- 第 6 回 (5/22) データハンドリング・基本分布と統計量・数字による表現法【演習】
- 第 7 回 (5/29) DK.NA.の処理・指標の作成【演習】
- 第 8 回 (6/5) クロス表による因果分析(1) クロス表の作成と因果推論【演習】
- 第 9 回 (6/12) クロス表による因果分析(2) 独立性の検定と相関係数【演習】
- 第 10 回 (6/19) 多重クロス表によるログリニア分析(1)
- 第 11 回 (6/26) 多重クロス表によるログリニア分析(2)【演習】
- 第 12 回 (7/3) ロジスティック回帰分析

(※分析レポートめ切り 7/6 15:00 社工事務室)

- 第 13 回 (7/10) 優秀者によるプレゼンテーション・講評
- (7/14) ※最終レポート提出

■成績評価

各回の演習課題 (各 5 点×8 回=40 点) および調査企画書 (各 30 点) と最終レポート (30 点)